



地域の子どもとお年寄りが一緒に笑顔で話したり、楽しく輪になって踊る。子どもを連れて里帰りし、故郷の祭りに参加する。地域の祭りには、世代を超えたつながりや地域への愛着心を育むなどさまざまな魅力があります。今月は、地域の祭りに携わる方へのインタビューを通じて、地域の祭りの魅力を紹介します。

## 「藤野ふるさとまつり」

に携わる地域の方に聞く！  
地域の祭りの魅力とは？

おたが 喜代一 さん  
大高 藤野地区町内会連合  
会会長。祭りの企画・  
運営に尽力。



祭りにより、交流が生まれ、  
地域の活性化につながります。

「祭りが始まったきっかけは？」

平成3年に、藤野地区の活性化を目的に初めて開催されました。今では、約5千人の方が参加する藤野地区の夏の風物詩です。

「見どころは？」

参加者が輪になって踊る「藤野音頭」です。また、地域住民による多彩なステージ発表は、観客を大いに楽しませています。

「どのような方が祭りを運営しているのですか？」

ステージ発表の運営や出演はもちろん、来場者の誘導など、祭りの運営の大半は地域住民が自ら行っています。独自の工夫としては、会場から遠い場所に住むお年寄りや子どもなどのために、福祉バスを走らせています。

「今後の抱負を教えてください。」

祭りに多くの方に参加いただければ、そこに交流が生まれ、地域の活性化につながっていくと考えています。藤野地区を盛り上げていくためにも、これからも祭りの魅力づくりに一生懸命取り組んでいきたいです。



楽しみながら、祭りで踊る。  
それが地域への愛着を深める  
きっかけに。

いとう けいこ さん  
伊東 慶子 さん  
藤野音頭を地域住民  
に指導するなど、普  
及活動を行う。



「藤野音頭は、いつ頃つくられたのですか？」

昭和58年、藤野開基百年記念につくられました。地区の伝統芸能として、地域住民に親しまれ、各種イベントで踊られています。私も約30年踊り続けています。

「今後の抱負を教えてください。」

「踊りは難しくないので、簡単な振り付けになっているので、子どもから大人まで多くの方に踊っていただいていますよ。練習会も定期的に開催しています。楽しみながら踊っていただくことで、地域の歴史や伝統などを学んだり、地域に愛着を感じてもらえるきっかけづくりとなれば幸いですね。」

「藤野ふるさとまつり」をきっかけにして、世代を超えたコミュニケーションの輪が築かれ、藤野地区の歴史や文化、伝統などさまざまな情報が広く共有されると嬉しいですね。今後も、藤野地区の若い世代とお年寄りの橋渡しの役目などを果たせることを願って、藤野音頭を踊り続けたいです。

